



## 平成 30 年度 第 5 回 「ミュージアムさくら塾」開催のお知らせ

本年度第 5 回のミュージアムさくら塾の開催が  
決定いたしました。

今回のテーマは「近世の村と矢倉沢往還」です。

ご参加の方には 矢倉沢往還ウォーキングガイド  
A4 サイズ版を資料の一部として配布いたします。

(ご希望の方はダイジェスト A5 サイズ版もお持ち帰りいただけます)



善波峠より富士山を望む



曾屋村地図・天保 6 年(1835 年)

日 時 平成 31 年 1 月 26 日(土)  
午前 10 時～正午まで



場 所 桜土手古墳展示館 映像室

申し込み 12月15日(土)より電話にて事前申し込みを受け付けます。定員は70名です。(申し込み先着順)

申し込み先電話 桜土手古墳展示館 0463-87-5542

参加費 200円

内 容 江戸時代、東海道のバイパス「矢倉沢往還」の拠点として栄え、現在の秦野市の発展の礎となった曾屋村の様子を解説します。

講 師 東海大学 学園史資料センター  
教授 馬場弘臣氏

## 新春企画展 遺跡と写真で見る秦野のあゆみ

日 時 平成31年1月9日(水) から

平成31年 1月22日(火)まで

場 所 イオン秦野店 別館2階 特設会場 (エディオン前) 入場無料

開場時間 イオン営業時間内

展示内容

第1部 「掘り起こされた秦野の遺跡 最新の調査結果とともに」

第2部 「クスノキの記憶 タバコ耕作と秦野」

第3部 「カメラがとらえた街の変化 小田急4駅周辺を中心に」



はだの史・発見展  
**明治・大正 秦野を彩った画家たち**  
**なぜ、橋本永邦は秦野で描いたのか???**  
**花開く秦野文化サロン**

今回の「はだの史・発見展」は明治・大正期に秦野に来訪した各地の日本画家や地元の画家 山田永耕・大津雲山の作品を紹介します。新発見と思われる作品も数多く、初めて公開されるものもあり、大変興味深い展示となっています。展示品の多くは白笹稲荷神社の宮司を務められていた栗原宣太郎氏(政治家、書道家)が所蔵していたもので、近年 白笹稲荷神社より市に寄贈され、今回展示される運びとなりました。また、本企画展にあわせ、ミュージアムさくら塾第6回を多摩美術大学の佐伯英里子先生を招き、ご講演いただく予定です。(詳細は秦野市広報にて別途お知らせします)



山田永耕 鯉



橋本永邦

伊藤龍崖  
 鍾馗



大津雲山 牧童



山田永耕

大津雲山

日 時 平成 31 年 2 月 2 日(土) から

平成 31 年 3 月 24 日(日)まで

[期間中の土曜日 1 日(未定)の午前中のみ 講演会のために見学できない日があります]

場 所 桜土手古墳展示館 (秦野市堀山下 380-3)

会 場 1 階 映像室

入館無料 開場時間 午前 9 時から 午後 5 時まで

(入館は 4 時 30 分まで)

## 展示内容

明治・大正期の秦野の文化

栗原秦堂(宣太郎)の紹介、山田永耕の紹介と作品

栗原秦堂(宣太郎)の収集した日本画家たちの作品

展示されている主な作品の制作者

橋本永邦、山田永耕、大津雲山、小山栄達、

塚原靈山、竹本石亭、牧野永昭、白井烟崑、伊藤龍崖、

首藤白陽、中田雲暉、栗原秦堂

白笹稻荷神社から寄贈を受けたものだけでなく、本市所蔵品で

あったものも一部展示します



### <桜土手古墳展示館へのアクセス>

☆小田急線渋谷駅北口より徒歩 20 分

// バス秦 54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分

// バス秦 12 秦野駅行「古墳公園前」下車徒歩 3 分

// 渋 05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分

☆小田急線秦野駅北口より

// バス秦 54 渋谷駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分

// バス秦 12 渋谷駅北口行「古墳公園前」下車徒歩 3 分

☆ 入館無料 開館時間午前 9 時～午後 5 時 (月曜休館) 駐車場有  
(入館は午後 4:30 までです)

桜土手古墳展示館だより Vol. 71 平成 30 年度 冬号

発行日 平成 30 年 12 月 17 日

編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下 380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ: 桜土手古墳展示館

検索

